

開会の挨拶

第40回 天文学に関する技術シンポジウムの開会の挨拶をさせていただきます。国立天文台の技術主幹をしております、先端技術センターの満田です。

このシンポジウムは、天文学に関係する様々な技術についての情報交換・交流の場として、国立天文台の技術系職員の中から世話人を選んで、技術系職員が自律的に運営し、開催してきたものです。今年度は、COVID19のパンデミックの影響でどうなるかと思っておりましたが、この状況を逆手にとって、「新しいワークスタイル」をテーマとする基調講演が企画され、一般講演も募集されました。「新しいワークスタイル」での経験が共有され、この状況を「新たなチャンス」に変えるようなアイディアの種を見つけていただくことを期待しております。また、リモート開催ということで、参加者が少ない可能性も心配していたのですが、テーマ以外の一般講演もたくさん申し込んでいただき、100名を超える参加登録をしていただけたとのこと。これは大変ありがたいことだと思います。

研究会に参加する大きなメリットの一つに、会議の合間合間の参加者との立ち話で新しい話を耳にして、そこからアイディアを得たりすることがある、ということがあります。しかし、このパンデミック下でこれまでに私が参加したリモートのシンポジウムや国際会議ではそのような機会は全くありませんでした。今回は、新しいツールを使って、立ち話ができる機会が三部にわたって用意されているそうです。それがどうなるかも楽しみです。

ということで、参加された皆様が、この技術シンポジウムで何かの刺激を感じていただけたらと思います。ぜひ、お楽しみいただくようお願いいたします。